

こまどりぐみだより(秋)

チャリティー第一保育園
令和7年12月発行



こまどり組2期(9・10・11月)の目標

- ・素材の仕組みを理解し、感じた事や考えたことをイメージしながら様々な表現を楽しむ
- ・お友達との関わりを深め、工夫したり、協力したりし一緒に活動する楽しさを感じる
- ・言葉遊びや言葉で表現する楽しさを感じる

○虫かご作り○

昨年度も廃材を使った虫かご作りをしている経験を活かし、虫かご作りに挑戦。廃材の素材を理解し、どうしたら虫が逃げないかと考え、工夫しながら作っていました。

虫が逃げないようにするためには何の廃材を使おうかな？



『虫かご作り大成功！』
試行錯誤を繰り返しながら完成した虫かごを持ち虫取りへ。虫が逃げないように作れたことをこの時に実感していました。

○ひらがなへの興味がさらに高まっています○

スムーズな音読が出来る子の刺激を受けて、さらに高まる興味。拾い読みから単語読みが出来るようになり、読むことの楽しさを感じています。



『ひらがな合わせ』
イラスト絵に合わせて、文字を組み合わせています。今では、お互いに答え合わせができるようになっています。



『ひらがなを
教えてあげるね！』
うぐいす組は文字への興味が芽生えた頃。こまどり組が読み方を教えてあげる姿が増えています。嬉しそうに聞いています。

○最後の運動会○

初めのうちは楽しい気持ちだけで始まった運動会練習。しかし、時には負けることの悔しさに涙することもあったり、お友だちのせいで負けたと訴えたりしながら迎えた当日。「チーム」は、力を合わせる事が大切と感じていたようです。



『より良くなるために工夫する姿』

どうやったら相手チームに勝てるか、組体操はどうやって取り組んだらきれいに見えるか、早く走れるコツはなど、こまどり組の子たちがリーダーとなってかなりうぐいす組に意見を伝え、取り組みました。

○アスレチック作り○事前に相談しお泊り保育の時にアスレチック遊び場を作りました。遊びやすい経路を考え、実際に遊んでみることに。遊んでみて場所の変更などもありました。



『壊れたら直せばいいよね！』
遊んでいるうちに壊れてしまうことも。そんなときには、壊れたら3人で協力し直すを繰り返していました。「壊れたら直せばいいよね」を合言葉に直しながら楽しんでいました。

○運動会後の「運動会ごっこ」○

楽しいと思える体験を積み重ねていくことで、日頃の遊びの中でも自然とこういった姿が見られていました。この写真は、選手宣誓ごっこかけっこごっこの姿です。どちらもこまどり組がリーダーとなって遊んでいました。



○枯葉遊び○

保育園の駐車場にたくさんの枯葉を発見。恒例の枯葉を上に乗る遊びをこまどり組が他クラスの子たちに声をかけ遊び始めました。さらに、枯葉集めをしよう！と遊びの展開をみんなに呼びかけ、楽しさを共有していました。



『葉っぱをたくさん持てる！』
こまどり組にもなると枯葉集めはブロ！力の加減をしながら多くの葉っぱを運ぶことができていました。

『枯葉集め』

大量の枯葉を集め袋に詰めていきました。袋いっぱいになると「踏むともっと入るよ」とこれまでの経験で習得した知識を、かなう組へ教えていました。

わくわく保育 “影” 編

○影遊び○

ワクワクテーマの1つに掲げられている「影」。曇りの日の影や、晴れの日の影、色々な場所へ映る影を、さまざまな活動を通して、面白さを感じていく中で、お友だちと影遊びが流行しました。



『スクリーンの影が小さくなったり、大きくなったり』

お泊り保育でミニシアターの準備のために、大きなスクリーンを出すと最初はただ自分の動きを映し出し楽しんでいましたが、立つ場所によって自分たちの影が小さくも大きくもなる影の不思議さに気付き試す姿が見られました。